

パートナーイベント

MPTE AWARDS 2024 第77回表彰式



会 期：2024年11月1日（金）

会 場：時事通信ホール

主 催：（一社）日本映画テレビ技術協会

後 援：経済産業省／（一社）映画産業団体連合会／（一社）日本映画製作者連盟／
（公財）ユニジャパン／（公社）映像文化製作者連盟／（一社）外国映画輸入配給協会／
全国興行生活衛生同業組合（連）／（特非）映像産業振興機構／
（一社）日本映像ソフト協会／（一社）日本アド・コンテンツ制作協会／
（一社）日本ポストプロダクション協会／NHK／（一社）日本民間放送連盟／
（一社）全日本テレビ番組製作社連盟／（協組）日本映画撮影監督協会／
（協組）日本映画・テレビ照明協会／（協組）日本映画・テレビ美術監督協会／
（協組）日本映画・テレビ録音協会／（協組）日本映画・テレビ編集協会／
（公社）日本照明家協会／（特非）テレビ日本美術家協会／
（特非）日本ビデオコミュニケーション協会（順不同敬称略）

協 賛：（株）ナックイメージテクノロジー／（株）ニユーテレス／ネットアップ（同）／
（株）NHKテクノロジー／（株）TBSアクト／アオイスタジオ（株）／朝日放送テレビ（株）／
アストロデザイン（株）／（株）アップサイド／池上通信機（株）／伊藤忠ケーブルシステム（株）／
（株）IMAGICAエンタテインメントメディアサービス／（株）IMAGICA Lab.／NHK 報道局／
NHK メディア技術局／（株）NHKアート／（株）オオトモエンジニアリング／
カールツァイス（株）／（株）角川大映スタジオ／関西テレビ放送（株）／（株）関西東通／
（株）GEAR／（株）共同エディット／（株）小輝日文／国際放映（株）／（株）三和映材社／松竹（株）／
（株）松竹映像センター／ソニーPCL（株）／ソニープロテクサポート（株）／
ソニーマーケティング（株）／（株）千代田ビデオ／（株）TBSテレビ／（株）テレビ朝日／
（株）テレビ朝日クリエイティブ／（株）テレビ大阪（株）／（株）テレビ東京／東映（株）／
東映アニメーション（株）／東映ラボ・テック（株）／（株）東京サウンド・プロダクション／
東宝（株）／Dolby Japan（株）／日活（株）／（株）日テレ・テクニカル・リソース／
日本大学芸術学部／日本テレビ放送網（株）／（一社）日本ポストプロダクション協会／
（株）バスク／（株）バンエイト／ビジュアル・グラフィックス（株）／（株）フォトロン／
（株）フジテレビジョン／（株）フジ・メディア・テクノロジー／（株）フレックス／（株）朋栄／
（株）放送技術社／三友（株）／（株）WOWOW（順不同敬称略）

対 象：映画テレビ技術に関連する技術者及び研究者

公式サイト URL：https://mpte.jp/

総来場者数（参加数）：108人

内 訳：（国内入場者数（参加数）：108人 海外入場者数（参加数）：人）

■開催内容

1947年の創立以来、制作現場で技術に携わっておられる方々を表彰する日本で唯一の賞として、映像制作技術の進化と制作意欲の向上を目的に、長年実施しているMPTE AWARDS。毎年、該当年度の応募を募集し、ジャンルごとの技術者・総勢約100名を審査員に迎え、受賞を決定している。

2024年は、「第77回技術開発賞」、「第77回映像技術賞」、「第42回青い翼大賞（学生作品の映像技術賞）」、「第27回経済産業大臣賞（日本映画テレビ技術大賞）」の授与を行った。技術開発賞では現場開発分野からの応募が多く集まり、AIの革新的発展が反映された実績が目立った。映像技術賞も、撮影・照明・録音・音声・美術・編集・VFX・OAG各分野の表彰を行った。

協会創立と時を同じくして始まった本 AWARDS。77年目を迎えた現在は、映像コンテンツを誰しも気軽に発信できるようになり、製作環境は急速に変化し続けていると言える。だが、どの様な時代になろうとも、映像を創るのは人＝技術者の皆様。これから映像業界を目指す次世代の技術者達に意欲と勇気を与えることが出来る意義ある顕彰活動であるよう、次回に向け益々の発展を約束し、閉会した。

■他イベントや非コンテンツ企業との連携事例などの実施事例、件数や成果

「Inter BEE 2024」内の Inter BEE CINEMA オープンステージにて、MPTE 勉強会特別企画「MPTE AWARDS 大賞受賞『ゴジラ-1.0』録音・音響効果技術」を語りつくす!」を実施した。音の技術的側面から作品を深く掘り下げた、映画愛溢れるセッションとなった。事前予約は即定員となり、当日は満席、立ち見も多く盛り上がった。

